

つわぶき

石 躑

艶のある葉を持つ常緑多年草です。
黄色い花を10月から1月にかけて咲かせますが、カラーリーフとしても一年中楽しませてくれます。
日陰に耐え、育てやすく品種も多いため、愛好家が多い草花です。
自生するのは海岸近くの岩場等で若い茎はアク抜きをすれば食用できます。

季節の花① TSUWABUKI



(株)中曽根造園 社外報

土とはいったい何なのでしょう？

元の姿は岩や石などの鉱物です。



それが風化により細かく砕かれ砂になり



微生物や植物が棲みつきます。

やがて動植物の死骸が加わり



微生物により分解され、有機物となります。

つまり、**鉱物と有機物の混合物**

それが**土**なのです。

土のはなし

①土とは？

明けまして



おめでとうございます

1月

2024





名の由来①

つばき 『椿』

彩りの少ない中にあり、鮮やかに冬を彩る椿。しかし、その名前の由来は、花ではなく葉なのです。葉に艶があり厚みがあることから「艶葉木 (ツヤバキ)」「厚葉木 (アツバキ)」と呼ばれるようになり、それが転じて「ツバキ」となったのだとか。

植物図案①

唐草とは

葉や茎、蔓を図案化した植物文様。途切れることなく伸びる様子から「繁栄・長寿」を表す縁起の良い文様として長く使用されてきました。古代ギリシャの草文様が原型といわれています。モチーフとなった植物には、スイカズラ (忍冬)、ブドウなどがあり、蓮や牡丹と合わせたものもよく見受けられます。



ちょっとした話①

雪のいいところ

雪なんてうんざり。積もらなければいいのに……

といったご意見の方が多いと思いますが、積雪にも立派な役目があるのをご存じですか？

- ① 土壌を覆うことにより断熱し、作物の根や球根を霜から守ります。
雪に埋もれた野菜も冷たい外気から保護されているといえるでしょう。
- ② 植物は雪に触れると凍結を防ぐために水分含有量を低下させ、ビタミンや糖を増幅させます。つまり、栄養豊富で美味しくなります。
- ③ 雪解け水は分子が小さく、生物にとっては吸収しやすい形状をしています。
春になると植物は芽を吹かせ、葉を展開するためにたくさんの水分を必要とします。
彼らにとって恵みの水となるのです。



私たちは知らないうちに雪の恩恵を受けているのですね。